

事業番号	10 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室			
		実施期間	S33 ~	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標	⑥就業率							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進							

1 現状と課題

- ・鳥類による果樹被害など防除の困難な被害が増加しつつある
- ・管理計画に比べてシカの捕獲数が目標値に達していない

2 事業目的

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

① 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策
・鳥獣の生息域と集落を区分する緩衝帯や移動経路となる河川周辺の整備
・防護柵の設置や追い払い等、地域の実態に応じた被害防除対策の支援
② 捕獲技術等を有する技術者の育成
・高度な捕獲技術を有する者の育成のため、公募により対象者5名を選定し、知識、技術に関する講習等を実施
・狩猟や有害捕獲に携わる人材を増やすため、ハンター養成学校を開校し、必要な知識、技術講習を受講
③ 特定鳥獣保護管理の推進
・イノシシに関する生息状況調査の結果を踏まえ、特定鳥獣保護管理検討委員会及び専門部会において検討を行い、第二種特定鳥獣管理計画を策定
・次期計画策定の基礎資料とするためのニホンザル生息状況調査及びカモシカ個体群動向調査を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	農林業被害額	千円	741,891		731,552	↘	736,664 (速報値)	↗	725,939	未達成	・農林業被害額減少を目的に鳥獣のモニタリングや捕獲対策等を実施しているため、令和3年度見込額に対して5%の減少を目標値として設定

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	394,605	△ 40,473	354,132	75,293	308,907	7.0
R3年度	0	413,475	△ 53,680	359,795	84,188	301,329	7.0
R2年度	0	506,833	△ 126,923	379,910	125,868	358,660	7.0

事業番号	10 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策室		

6 主な取組実績と成果

<p>① 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の68市町村で地域の現状に応じた対策を実施した ・松本市中山地区においては、集落等捕獲隊の活動（止め刺し、見回りなど）に係る経費を支援し、南信州地区においては、ニホンジカ、ニホンザル、イノシシの個体数調整のための捕獲を支援することで、野生鳥獣による被害軽減に寄与した <p>② 捕獲技術等を有する技術者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な射撃技術やわなの設置技術、安全管理などに関する研修を対象者4名に実施し、知識、技術を習得させた ・研修参加者が県発注事業に参画するなど、地域の野生鳥獣の捕獲に寄与した <p>③ 特定鳥獣保護管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定鳥獣保護管理検討委員会及び専門部会において検討を行い、集落ぐるみの総合的な対策によるイノシシと人との緊張感あるすみ分けの実現を目指した第二種特定鳥獣管理計画（第4期イノシシ管理）を策定した ・当計画の策定にあたっては、関係機関への協議、市町村長の意見、公募による県民意見を踏まえた上で策定した ・策定した計画は、県ホームページで公表するとともに、市町村長、関係機関へ通知し、広く周知を行った
--

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	農林業被害額	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
地域の実情に応じた被害防除対策を実施したが、野生鳥獣が罠にかかりにくくなっている等の要因により、目標額の達成には至らなかった。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣による農林業被害の原因を明確にすることで、より効果的な被害防除対策の実施とともに、加害鳥獣の捕獲を支援する ・引き続き、野生鳥獣による被害を削減していくためには、地域に根ざした捕獲技術者の確保が必要
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と地域が被害状況を共有し、野生鳥獣被害対策チーム（林務課、農業農村支援センター職員等）を中心に地域へ被害対策などの技術支援等を行い、総合的で効果的な対策を地域とともに推進する ・狩猟経験の少ない捕獲技術者への実践的な研修等を実施し、地域への定着を図る

事業番号	10 05 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策室

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	狩猟対策事業		25,728 千円	20,036 千円	15,297 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	免許事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施 狩猟者登録 5,756件		
2	県営射撃場運営事業	直接	射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備 利用者人数 4,765人		
3	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新規取得者に講習を実施 受講者数 1,020人		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	鳥獣保護管理事業		34,262 千円	37,075 千円	32,796 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	鳥獣保護管理員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施 鳥獣保護管理員 126人		
2	特定鳥獣保護管理事業	直接	専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会を開催 特定鳥獣保護管理検討委員会12名、会議は2回開催		
3	特定鳥獣保護管理事業	委託	・野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、第二種特定鳥獣管理計画策定獣種（R4はニホンザル）の生息状況等調査を行い、生息状況、被害発生状況の把握と共に被害対策の実施状況等の解析を実施 ・R3年度に実施した調査結果をもとに第二種特定鳥獣管理計画（イノシシ）を策定 第二種特定鳥獣管理計画（第4期イノシシ管理）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	野生鳥獣総合管理対策事業費		238,797 千円	232,320 千円	248,251 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 ・市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 ・地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策を講じるための経費に対する支援を実施 個体数調整報奨金補助対象市町村数 72市町村		
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	直接 委託	ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲の実証調査を実施 センサーカメラを活用した効率的な手法による捕獲実績 23頭		
3	持続型捕獲モデル実証事業	委託 補助金	再生林の支障となるニホンジカの捕獲を促進するため、ドローン等のデジタル技術を活用した効率的な捕獲手法を実証し、持続可能な捕獲モデルの確立と捕獲個体のジビエフル活用に向けた取組に対する支援を実施 県・市町村の鳥獣被害対策担当者を対象とした報告会の開催 1回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	豚熱対策事業		59,873 千円	11,898 千円	12,563 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	野生いのししの生息環境対策を主軸とした総合的な獣害対策	直接 委託 補助金	「生息環境対策（緩衝帯整備）」を主軸として、「侵入防止対策」、「捕獲」の3つの対策をパッケージとする総合的な獣害対策に取り組み、いのしし対策の長野モデルとして発信 県・市町村の鳥獣被害対策担当者を対象とした報告会の開催 1回		